

3224MHz対応小型直列ユニット

4K8K
3224MHz対応

●このたびは、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。



SHマーク(スーパーハイビジョン受信マーク)は、BS・110度CS右旋放送受信帯域に対応した機器のうち、一般社団法人 電子情報技術産業協会が審査・登録され、一定以上の性能を有するスーパーハイビジョン衛星放送受信に適した衛星アンテナ、受信システム機器に付与されるシンボルマークです。



高シールド

このマークは放送法「不要放射34dBμV/m以下」に準拠・設計された「Wi-Fiや携帯電話など、電波の影響を受けにくい・与えにくい製品」に表記される当社独自のマークです。



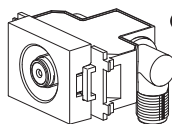
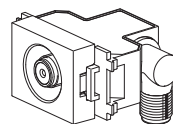
■特長

1. 入力・出力端子を180°可動できますので、ケーブルの接続を容易に取付けできます。
2. 10～3224MHz (HF帯からCS-IF帯) まで使用できる高性能ユニットです。
3. 市販の取付枠に取付可能です。
4. ケースは亜鉛ダイカスト製、ふたはプレス固定式で、電波の漏洩や飛込み対策に効果があります。

■ポイント

- テレビ端子台は、市販取付枠へ取付け後でも着脱可能です。
- ボックスはJIS C 8340に準じますが、奥行き40mm未満の場合には取付、配線できないことがあります。本器、ボックス、ケーブルの寸法、設置方法などをあらかじめ考慮したうえでご使用ください。
- TV端子の接続には、必ずF型接栓を使用して確実に締付けしてください。
- 空端子がある場合は、ダミー抵抗をお求めのうえ必ず接続してください。
- 4K・8K放送に対応したシステムにする場合、使用機器・同軸ケーブルなどはすべて3224MHzまでの周波数帯域で性能が保証されているものをご使用ください。

1端子型

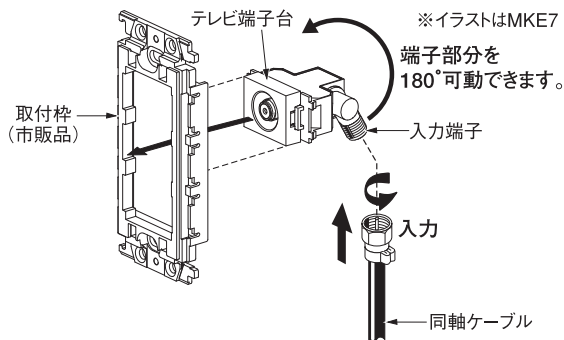
●MKE7-7
(中間用)

●MKE7
(壁面端子)
電流阻止型

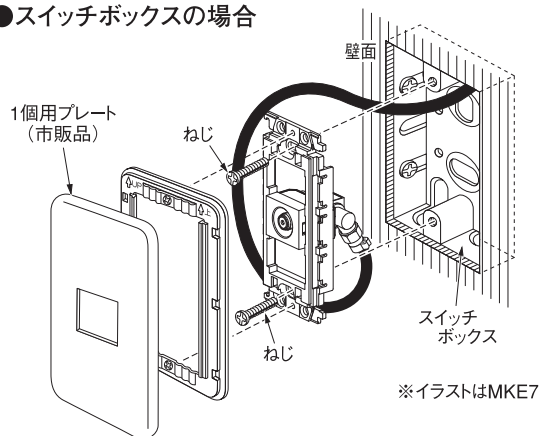
●MKE7P
(壁面端子)
電流通過型

■取付方法

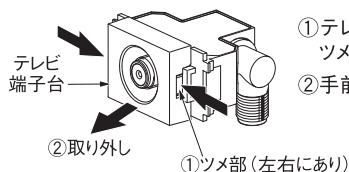
●ケーブルの取付・取付枠への取付



●スイッチボックスの場合



■テレビ端子台の取外し方法



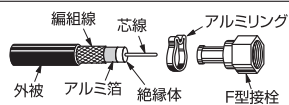
- ①テレビ端子台の両方のツメ部を指でつまみます。
- ②手前に引いて外します。

※イラストはMKE7

●同軸ケーブルの加工方法とF型接栓の取付方法（別売品）

◆用意するもの カッターまたはナイフ、ハサミまたはニッパー、ペンチ。

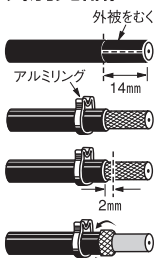
■各部の名称



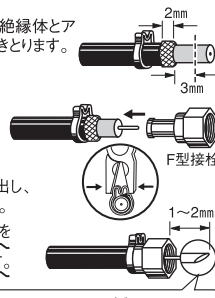
ポイント

- 絶縁体をカットするときは芯線をキズつけないように注意し、芯線が編組線とアルミ箔に接触していないかをご確認ください。
- 芯線に付着物がないか確認し、付着物がある場合には、きれいにしてください。
- 芯線の外径が1.5mm以下の同軸ケーブルをご使用ください。外径が1.5mmより太い場合は、ピン付接栓をご使用ください。（※同軸ケーブルを取換える場合は、以前使用していた同軸ケーブルと芯線の外径が同じ同軸ケーブルをご使用ください。）

- 1 カッター、ナイフなどで点線の部分をカットします。（深さ1mm程度）
- 2 外被をむき、アルミリングを通しておきます。
- 3 外被から2mm程度はなして編組線をていねいに切り落としてください。
- 4 編組線をめくりあげます。



- 5 編組線から3mmはなして絶縁体とアルミ箔を同時に切り、抜きとります。
- 6 F型接栓をアルミ箔と編組線の間に挿入し、アルミリングをペンチなどでつまんでしっかりつぶしてください。
- 7 芯線の先端は1～2mm出し、斜めにカットしてください。芯線が長いと接続端子を破損する場合があります。



芯線は斜めにカットすると挿入しやすい

⚠ 注意 加工の際、切りくずの扱いや工具の使用には十分注意してください。思わぬけがの原因となります。

●F型接栓締付トルク 約2.0N・m（約20kgf・cm）

■標準性能表

型 名	周波数帯域 (MHz)	挿入損失 (dB以下)	結合損失 (dB以下)	逆結合損失 (dB以上)	電圧定在波比 (以下)	インピーダンス (Ω)	使用温度範囲 (℃)	寸法 (mm) 高さ×幅×奥行	質量 (g)
MKE7-7 (中間用) ※1 	10～76	1.5	11.0	23	1.8	75 (F型)	－10～＋40	28.4 × 43.6 × 36	45
	76～222	1.5	11.0	25	1.8				
	222～770	1.8	11.8	20	1.8				
	770～1489	2.0	12.0	18	2.0				
	1489～2150	3.0	13.5	15	2.5				
	2150～2681	3.5	14.5	15	2.5				
MKE7 (壁面端子) 電流阻止型 	2681～3224	4.5	15.5	15	2.5				
	10～76	0.3	—	—	1.5				40
	76～222	0.3	—	—	1.5				
	222～770	0.4	—	—	1.5				
	770～1489	0.4	—	—	1.5				
	1489～2150	0.6	—	—	1.8				
MKE7P (壁面端子) 電流通過型 ※2 	2150～2681	0.8	—	—	1.8				
	2681～3224	1.0	—	—	1.8				
	10～76	0.3	—	—	1.5				40
	76～222	0.3	—	—	1.5				
	222～770	0.4	—	—	1.5				
	770～1489	0.4	—	—	1.5				

※1 入力端子と出力端子間 電流通過 最大DC15V・0.8A／AC30V・1A

※2 入力端子とTV端子間 電流通過 最大DC15V・0.8A／AC30V・1A

お客様窓口



0570-091039

ナビダイヤルが利用できない場合は ☎(03)3893-5243

ご利用時間 9:00～12:00 13:00～17:30 (土・日・祝祭日・弊社休業日を除く)

日本アンテナ株式会社

本社／〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03) 3893-5221 (大代)
(ホームページアドレス) <http://www.nippon-antenna.co.jp/>

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。

MKE (A01) 7110678 平成28年10月